

入札監視委員会の審議概要について

北海道運輸局 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成28年9月28日（水） 北海道運輸局 8階海技試験場	
委員	委員長 吉見 宏（北海道大学大学院経済学研究科教授） 委員 千葉 寛樹（税理士） 委員 吉岡 直樹（弁護士）	
審議対象期間	平成28年1月1日～平成28年6月30日	
抽出案件	総件数7件	
工事一般競争	1件 ・電話設備整備工事（札幌・旭川・室蘭運輸支局）	
役務・物品一般競争	3件 ・北海道運輸局札幌運輸支局防犯カメラシステム等購入契約 ・札幌運輸支局他で使用する電気需給契約 ・「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業」観光バス都心部巡回等啓発業務	
役務・物品 随意契約 （企画競争）	3件 ・「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業に係る調査」業務 ・北海道における広域観光周遊ルート形成促進事業に係る調査業務（食の魅力による情報発信事業） ・北海道における広域観光周遊ルート形成促進事業に係る調査業務（Explore DININGプロジェクト）	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

（参考）

入札監視委員会は、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、平成13年4月1日から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成12年11月27日法律127号）及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」（平成13年2月9日閣議決定）に基づき、北海道運輸局に設置されています。

別紙 委員からの意見・質問それらに対する回答書

意見・質問	回 答
<p>●電話設備整備工事（札幌・旭川・室蘭運輸支局）</p> <p>・落札率が非常に低いのは何か原因があったのでしょうか。</p> <p>・この工事は電話機や電話交換設備の交換を行う工事ということなのでしょうか。</p>	<p>予定価格は2者から参考見積もりを徴取し、当局で積算に用いている単価等についても使用しながら算出しました。</p> <p>おそらく、今回は電話設備の購入ということで、参考見積もり時は機器の代金を定価で積算してきたものと思われ、実際の入札では値引き後の金額で応札してきたため、このように落札率が低くなったのではないかと考えております。</p> <p>そうです。</p>

意見・質問	回 答
<p>●北海道運輸局札幌運輸支局防犯カメラシステム等購入契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議案件を抽出した際は落札率が低いと考えて抽出しましたが、落札した事業者以外の応札金額を見ると予定価格に近い金額の事業者も存在することがわかったのですが、特に問題はなかったのでしょうか。</li> <li>・ 落札できなかった事業者の納入予定の機器は今回導入された機器と同程度の性能のものなのでしょうか。</li> <li>・ 本契約にはメンテナンスは含まれているのでしょうか。</li> </ul> <p>●札幌運輸支局他で使用する電気需給契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約予定金額が高額であること、落札率が低いことから審議案件として抽出しましたが、何か理由があるのでしょうか。</li> <li>・ 落札事業者は同じなののでしょうか。</li> <li>・ 予定価格に近い金額で応札してきている事業者もありますので、本件については問題ないのではないのでしょうか。</li> </ul>	<p>落札事業者は今回導入した機種を直接仕入れを行える会社であることから、他社よりも安く仕入れができたのではないかと考えられ、それが落札率が低くなった原因であると考えております。</p> <p>仕様書に定められていますので、同程度のものであろうと思います。</p> <p>含まれておりません。</p> <p>予定価格については、一昨年度、昨年度の入札時と同様の方法で算出を行いましたが、応札者の顔ぶれが変わらないにもかかわらず、落札率が7%程度低くなりました。</p> <p>昨年度とは違う事業者が落札しています。</p>

意見・質問	回 答
<p>● 「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業」観光バス都心部巡回等啓発業務</p> <p>・この契約の費用の大部分は人件費ということになるのでしょうか。</p> <p>・三者が応札していますが、価格に大きく開きがあります。人員の年齢構成の違い等で差が開いているということでしょうか。</p> <p>・この単価につられて契約金額がアップすることも考えられるので、シビアに予定価格を積算する必要があると思います。</p> <p>・落札できなかった二者も警備会社でしょうか。</p> <p>・同じような事業は全国的に行われているのでしょうか。</p> <p>・この事業は市民等からの苦情があったて行われたのでしょうか。</p> <p>・あまり効果的な事業であるとは思えません。</p>	<p>巡回啓発を行うところの警備員の人件費です。</p> <p>予定価格は実勢価の調査ではなく、公共工事の積算の際に使用する「交通誘導員」の単価を使用しているため、市況価格より少し高めの単価となっています。三者中、落札業者が低い応札となっていますが、わざわざ人員を集めてきたわけではなく、自社で抱えている人員でまかなったために安くなっているのではないかと考えております。</p> <p>わかりました。</p> <p>二者とも警備会社です。</p> <p>バスの待機場場に人員を配置して、空いた場所ができたならバスに情報提供するという方式は全国で2事例ほどありますが、巡回啓発として警備員を配置しているのは札幌のみです。</p> <p>昨年、札幌市で行った調査には市民からの苦情についても含まれていますが、主に市が行った現地の実態調査に基づいたものになっています。</p> <p>今回の結果を踏まえて、札幌市で警察と連携して効果的な方策を考えることになっています。</p>

意見・質問	回 答
<p>● 「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業に係る調査」業務</p> <p>・ 電話医療通訳事業者の選定を行うということが仕様書に記載されていますが、選定はうまくいったのですか。</p> <p>・ 今回の事業を釧路地域で行うこととしたのはどういった経緯なのでしょうか。</p> <p>・ ニセコ地区の方が外国人の入り込みが多いように感じますが、そちらでこの事業を行う可能性はありますか。</p> <p>・ 国土交通省の事業が終わったらこの事業は終了してしまうのですか。</p> <p>・ 医療通訳は何カ国語に対応していますか。</p> <p>・ 通訳者派遣と電話通訳サービスの2つの事業がありますが、これはもともとサービスとして立ち上がっているのですか。</p>	<p>今回の事業の受託事業者が事業の主旨に賛同いただける事業者を全国的に探して、実際に要望の多い24時間対応ができるかや言語の種類等を相対的に見て考慮し、適切な事業者が選定されました。</p> <p>外国人旅行者の事故・急病時の対応について問題意識を持っており、意欲のある地域でなければ、自治体や医療機関との調整等に時間を要します。</p> <p>釧路市は財政的な問題で、この事業を継続する予算が確保できないとの相談を受けていました。</p> <p>釧路市については意向があり、体制も整っていましたので、今回の事業を行うことにいたしました。</p> <p>事業を年度内に完結させるためには、本格的な冬に入る前に実証実験の検証を終える必要がありますが、ニセコ・倶知安地区が賑わうのは圧倒的に冬場であることから、同様な事業を導入するのは困難であろうと思われまます。</p> <p>本事業は継続性をもって行っていただくための初動としての事業ですので、現在、釧路市にどのようなスキームで引き継いでいくかを検討しているところです。</p> <p>英語、中国語、韓国語、ロシア語、ベトナム語、ヒンディー語、スペイン語、ポルトガル語の8カ国語に対応しています。</p> <p>立ち上がっています。</p>

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療通訳となると医者と患者の間に第三者が入ることになりますが、その際に守秘義務の取扱いはどのようになっているのでしょうか。</li>   <li>・この事業では実際に通訳者を使った医療通訳を行うということでしょうか。</li> </ul>	<p>今回の医療通訳サービスでは守秘義務も含めた契約になっておりまして、また、間違った通訳をした時の損害賠償についても含めて契約書を取り交わすことになっています。</p> <p>医療の経験があるか、医療の研修を受けた専門の通訳の方が同時通訳するというイメージです。</p>

意見・質問	回 答
<p>●北海道における広域観光周遊ルート形成促進事業に係る調査業務（食の魅力による情報発信事業）</p> <p>・「東北海道」とは具体的にはどの辺りのエリアですか？</p> <p>・「上川」までが東というイメージでしょうか。</p> <p>・仕様書では英語、中国語、韓国語をベースとしていて、店舗検索ではタイ語にも対応させることとなっていますが、以前の事業ではインドネシアに力を入れているという話がありました。インドネシアの方の言語には対応しているのでしょうか。事業が切れてしまっているような印象を受けます。</p> <p>・この地域を訪れる旅行者は観光バスに乗ったり、団体旅行をされる方が多いと思いますが、そんな中で個別の店舗のメニューの情報発信をする狙いはどういったもののでしょうか。</p>	<p>北海道の振興局でいくと、「上川」「十勝」「釧路」「根室」「オホーツク」です。</p> <p>「上川」というと道北のイメージですが、旭川より東の方面ということでイメージしていただければと思います。</p> <p>今回の広域観光周遊ルートにかかわる事業では事業計画を作成しておりますので、どこの国にターゲットを絞るかということを決めており、その中で台湾は重点国、香港、タイは重点国、インドネシアはその他の市場ということになっています。</p> <p>タイを重点国としておりますが、タイ語は変換が大変難しい言語であり、多言語化するのに多額の費用がかかるため、本事業ではタイ語でのホームページの構築までは行いますが、各店舗情報及びメニュー作りまでは行わず、英語に変遷することになっています。</p> <p>初めて来る方は団体旅行でお越しになる方が多いと思いますが、統計を見ると旅行の個人化がかなり進んでいる状況です。</p> <p>加えて、東南アジアの方はホテルで夕食をとった後に街歩きをして飲食をされる方が多いので、その地域の店舗の経済効果が高まるように、旅行者に来てほしい各店舗と各店舗の状況が知りたい旅行者の双方を結ぶため、インターネットを使った情報発信が必要ではないかということで、本事業を企画いたしました。</p>

意見・質問	回 答
<p>・このような手法で行うとかなりの金額がかかります。各店舗で行えばそれほど金額をかけなくても多言語化できると思いますが、きちんとしたものになるかの保証はないと思われます。</p> <p>多言語化の必要性をうまく認識させることが大事なことでないでしょうか。</p> <p>・実施結果を見ると今回の企画競争の評価点は高いものではないようです。1者応札となっていますが、どのような状況だったのででしょうか。</p>	<p>各店舗の意欲を起こさせるのが今回の事業の一番の目的です。</p> <p>本事業により最初の導入を行います。が、事業をとおして、外国人の集客が商売になるということを見せることにより、参加店舗やそれ以外の店舗の意欲を高めることが目的と考えております。</p> <p>この事業に関してはもう1者、直前まで提案を考えていた事業者がいましたが、多言語のホームページを最初から作成するとなると難しかったようです。</p>

意見・質問	回 答
<p>●北海道における広域観光周遊ルート形成促進事業に係る調査業務 (Explore DININGプロジェクト)</p> <p>・富裕層へのプログラムの提案ということですが、現地に行くルートの形成がなされていないように思います。 高級なホテルで外国人富裕層のリピーターをお持ちのところもありますが、行くのが不便だと言われるという話が聞こえてきます。 そういうところに北海道運輸局が先導してルートを作っていただくということはできないのでしょうか。 良いスポットがあっても、ルートとしてつながっていないように思えます。</p> <p>・この事業の中で具体的にはどのようなコンテンツが提案されているのでしょうか。</p>	<p>広域観光周遊ルートの事業は5年の期間を定めており、5年の中で計画的に進めることとなっております。</p> <p>ご意見のあったとおり、北海道は二次交通が弱く、そこがウィークポイントであるということは我々も承知しております。</p> <p>今回の審議対象期間後の7月に契約した事業では、周遊ルートの中でバスを運行する実証実験を行っております。</p> <p>また、既存の都市間バスにWi-Fiを設置して、長距離移動の旅行を楽しんでもらえるような事業も行っており、日本人も含めて非常に好評を博しております。この5年間の間に1つずつ解決して行きたいと考えております。</p> <p>十勝の例をあげますと、農作物で体験メニューを行っている事業者がおりますが、そういった事業者とタイアップして、富良野演劇工房のプロデューサー等をお願いして、エンターテインメント性の高い仕掛けをコーディネートしていただき、シンガポールの富裕層の招請を行い、その方々に検証してもらい、旅行商品造成の手前までもっていきたいと考えております。</p>